2026 年 11 月

2027 年度　サッポロ生物科学振興財団　研究助成公募について

（公財）サッポロ生物科学振興財団

1. 助成の趣旨と目的

当財団は、豊かな食文化の創造が、人類の幸福と発展、持続可能な社会の実現に繋がると考えています。そこで、豊かな食文化の創造に貢献することを目的とした研究に対して、助成事業を行っています。当財団の研究助成を通して、若手研究者のチャレンジや、分野をまたいだ研究者間のネットワークづくりへの貢献を目指します。ライフサイエンスを活用した「おいしさ」を極める調査・研究をはじめ、マーケティング、心理学、社会学、デジタル技術等々、幅広い学術分野の応用による「これまでにないおいしさ」の価値創出へ挑戦する意欲的な研究のご応募を期待しています。

2. 募集要項

2027 年度は、以下の分野の公募を実施いたします。

1）消費者を知るための調査・研究

心理学的実験や情報処理によって、消費者の「味の認知」「嗜好」「購買行動」などを科学的に明らかにするための調査・研究

2）食品機能に関する調査・研究

農業・食品産業での展開につながる、食品の栄養機能、健康機能、生体調節機能に関する調査・研究

3）「おいしさ」を創出する調査・研究

原料素材の育種・探索、製造加工の技術開発による新たな「おいしさ」「食感」の創出や、効率的・安定的生産、持続可能な社会構築における食に関する調査・研究

食の安全性を脅かすリスク要因の解明とその制御に関する「おいしさ」を保証する調査・研究

4）北海道の食産業振興に貢献する調査・研究

新しい食品・作物・加工技術等を通じた、北海道の食産業を支援するための調査・研究

動物実験を手法として用いる調査・研究は、助成の対象外とさせて頂きます。

分野別・項目別の件数は定めません。

学会発表や論文投稿など、研究成果を公表する際には、当財団の研究助成資金を利用した

ことを謝辞等で示してください。
当該資料については、財団への送付をお願いいたします。（助成期間後を含む）

応募資格

・日本国内の大学その他の研究機関に勤務する研究者個人あるいはグループの方（学生・大学院生は除く）
・45 歳未満（2027 年 4 月 1 日現在）の方
・原則として過去に本助成を受けていない方
・同じテーマ・内容で他の助成・営利企業による資金を同期間に重複して受けていない方
・推薦（必須）
応募内容を理解する大学教授または所属機関長級の研究者などによる推薦を要します。

助成期間

1 年

助成金額

100 万円（事務管理費の助成金使途としての計上はご遠慮ください）

件数

4 件程度

応募開始日

2026 年 11 月 24 日（火）

応募締切日

2027 年 1 月 13 日（水）

申込方法

以下の申込書を弊財団ウェブサイトからダウンロードしてください。
・応募用紙
・推薦書
上述 2 書類の申込原本（紙書類に自書署名したもの）1 部を簡易書留あるいはレターパックプラス等の送付記録の残る郵送で、ワードファイルあるいは文字認識可能な PDF ファイル（署名は不要、氏名・フリガナは文字入力にて記入願います）を電子メールにて当財団事務局宛にお送りください。

選考方法

選考委員会での審査を経て、理事会で決定いたします。

助成決定

2027 年 3 月末日までに電子メール及び郵送により応募者に通知いたします。

助成金および賞状の贈呈

助成金は 2027 年 4-5 月頃を予定

「サッポロ生物科学財団奨励賞」授与を 2028 年 6 月に予定

成果の報告

2028 年 4 月中に報告書を提出、同年 6 月に開催の成果報告会にてご報告をいただきます。

お問合せ・申込書送付先

〒150-8522

東京都渋谷区恵比寿 4-20-1　サッポロホールディングス（株）内

公益財団法人 サッポロ生物科学振興財団　事務局

担当：佐藤　雅英（さとう　まさひで)、福嶋　禎久（ふくしま　よしひさ）

TEL：03-6859-0106　（受付時間　9:00-17:00）

※土・日・祝日、年末年始、夏季などの特別休暇を除きます。

E-mail：sapporozaidan@sapporoholdings.co.jp

受給者の責務

財団と受給者は「研究助成に関する覚書」を交わしていただきます。

違法あるいは研究倫理に違反する行為があった場合は、助成金の返還請求を行う場合がございます。

助成期間終了後（2028 年 4 月)、助成研究報告書および会計報告書を提出していただきます。(書式は、助成対象者に電子メールにて送付いたします。)

助成内容･報告書等は当財団のホームページなどに掲載し､広く社会に公開いたします。（但し、公開に支障がある場合には当財団にご相談ください。)

報告書提出後、2028 年 6 月に開催予定の研究報告会にて成果を発表頂きます。

研究成果の公表時（学会等での発表や論文投稿など）には、当財団の助成による研究であることを謝辞等で明示してください。

その他

応募書類は返却いたしません。

応募書類によって取得した個人情報は、本助成選考の目的以外で利用したり、外部に提供したりすることはありません。

当財団の個人情報保護に関する方針に基づき適切に管理いたします。

以上